

第420回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 2025年7月28日(月)
- 2 開催場所 テレビ新潟本社
- 3 委員総数 8人 出席委員 8人

出席委員

小原 清文 委員長	石井 宏明 委員
大久保 千春 委員	迫 一成 委員
小山 厚子 委員	杉原 名穂子 委員
浜田 泰宏 委員	

書面での出席

本宮 宏美 委員

会社側出席者

代表取締役社長	正力 源一郎
取締役コンテンツ本部長	河野 修三
コンテンツ戦略局長兼番組審議会事務局長	小林 健
報道制作局長	中川 幹子
報道制作局次長・番組プロデューサー	須山 司
事務局	鈴木 英門 坂上 寿史

4 議 題

1) 番組合評

2) 「石田健×ニイガタ老舗 ポテンシャル」

2025年6月29日(日) 16:50-17:20

3) 会社報告

① 6月の視聴者の意見 (報告:番組審議会事務局)

② 講じた措置、議事概要の公表 (報告:番組審議会事務局)

③ 訂正放送、取り消し放送の有無 (報告:番組審議会事務局)

4) その他

5 審議の概要

会社側からは「番組は、新潟の老舗企業の魅力や経営者の考え方などに迫りつつ、地域の知られざる可能性や魅力を探っていこうと企画しました。TeNYにはこれまであまりなかった、地域経済とか企業経営にスポットを当てた番組です。コメンテーターとして活躍されている石田健さんをナビゲーターに迎え、石田さんの知見や視点もお借りしながら、企業の魅力や長く続けてきた秘密などを掘り下げました。この番組が、新潟には素晴らしい技術やこだわりを持っている企業があることを知ってもらおう機会になればと制作を進めました」という趣旨の説明があった。

(委員の意見)

- 新潟の老舗企業に焦点を当てることで、地域経済の基盤を支える企業の魅力が非常にわかりやすく伝えられていた。企業選定も的確で、老舗企業の凄さが自然に伝わる内容だった。
- 取材対象者の言葉一つ一つが、番組を引き締めるとともに輝いていた。また、その言葉をナビゲーターの石田健さんが上手く引き出していた。
- “ポテンシャル”という番組タイトルが、あまり気を引かない。タイトルロゴもチープで、少し古い地方感が出てしまっていた。
- 映像の力が強かった。普段あまり目にすることのない工場の様子が素直に面白かった。ダイレクトに“凄い”と感じさせてくれた。
- これまでのT e N Yにはあまりなかった番組。面白かった。ぜひレギュラー化して、魅力的な企業をどんどん伝えてもらいたい。
- スタジオコメンテーターとしての石田健さんと違い、工場を回り、食堂で若い人たちと会話をするなど、話を引き出す姿が良かった。一方で、もっと石田さんの視点や感想があってもよかったのではと感じた。
- “スプリングバランサー”という、最終製品ではなく製造過程で必要となる機械に注目したところが面白かった。
- 今回取り上げた機械が、具体的にどのような仕組みで作動しているのかを、大雑把でもよいので伝えてもらいたかった。
- 新潟の老舗企業を掘り下げることで、経営とは？新潟県経済活性化のために何が必要なのか？そのヒントをもらうことができた。今後に期待が持てる楽しい番組。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

6月……181件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会の開催日(2025年6月16日)から、昨日(2025年7月27日)まで総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回第419回審議会では、

「夕方ワイド新潟一番1部」を審議いただき、委員の意見は議事概要にて記者、制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員、スタッフに共有しました。

8 今回の第420回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支局の県内事業所に議事概要の書面を準備します。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・第419回番組審議会議事録
- ・6月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・BPO報告(No. 278)

以上